

共通仕様書

第1節 総則

(一般事項)

第1条 この仕様書は、委託者（以下「甲」という。）が受託者（以下「乙」という。）に業務を委託するに当たって必要な事項を定めるものとする。

(適用範囲)

第2条 乙は、図面、設計書及び特記仕様書に定めるもののほか、この仕様書の定めるところにより委託業務を履行するものとする。

第2節 安全管理

(一般事項)

第3条 乙は、業務場所における安全な作業を確保するため、適切な照明、防護柵、足場及び標識等を設けなければならない。

2 乙は、薬品油類、電気等の危険物を使用する場合は、その選定、保管及び取扱について、関係法令に従い万全の対策を講じなければならない。

3 豪雨、出水、その他の災害に対しては、十分な注意を払い、常にこれに対処できるように準備しておかなければならない。

(事故の防止)

第4条 乙は、業務の実施に必要な安全管理者、作業責任者等を配置して、安全管理と事故防止に努めなければならない。

2 乙は、業務の実施に当たり、機械器具の点検整備を行い、取扱に当たっては十分注意の上操作し、事故を未然に防止しなければならない。

(異状及び事故報告)

第5条 乙は、業務対象物等に異状を認めた場合、直ちに監督員に通報しなければならない。

2 事故が発生したときは、直ちに適切な措置を講ずるとともに監督員及び関係者に通報しなければならない。

なお、乙は事故の状況を記した書類を監督員を経由して甲に提出しなければならない。

(後片づけ等)

第6条 乙は、業務の完了までに機材、仮設備等を撤去するとともに清掃し、施設に損傷を与えた場合は修復しなければならない。

2 乙は、業務の履行中、常に現場内の整理整頓に努めること。

第3節 業務の実施

(委託業務実施基準)

第7条 乙は、業務の実施に当たって、関係法令を遵守し、特に関係法令に定められた諸手続き（許可、届出等）を遅滞なく行うものとする。

2 乙は、監督員の承認を受けた工程表、実施計画書に従い、委託業務の円滑な進行と適正な管理を行わなければならない。

- 3 乙は、委託業務実施に際し、騒音、振動、悪臭等公害の発生を防止し、関係者と紛争を起こさないよう、常に配慮しなければならない。
- 4 乙は、実施区域全般にわたる地上施設、地下埋設物等を確認し、業務実施に支障のある場合は、速やかに監督員に連絡し、その指示を受けるものとする。
- 5 乙は、業務従事者の就業時間についてあらかじめ甲と協議するものとする。
- 6 乙は、契約の履行を期するため、業務の遂行に適した者を配置しなければならない。

(服装、規律)

第8条 乙は、業務従事者に次に掲げる事項を厳格に守らせなければならない。

- (1) 作業に適した服装を着用すること。
- (2) 勤務中は、礼儀正しく品行をつつしみ応接に当たっては懇切丁寧を旨とし、仮にも粗暴にわたる言動がないこと。
- (3) 勤務中に飲酒しないこと。又、酒気をおびて勤務しないこと。
- (4) 病院の敷地内での喫煙その他職務の遂行を怠るような行為をしないこと。
- (5) 名札を常時身に着けること。

(記録)

第9条 乙は、業務責任者に実施した日の業務実施状況を記録させ、原則として翌日監督員に提出しなければならない。

(業務実施上の留意事項)

第10条 業務の実施に当たっては、次の事項に留意しなければならない。

- (1) 火気の使用に当たっては十分注意すること。
- (2) 電力、ガス、水の使用に当たっては、極力節約に努めること。
- (3) 衛生に留意すること。

(事務引継)

第11条 乙は、乙以外の者が当該業務を受託することが明らかになったとき、甲の監督のもと、新しい受託者が円滑に業務を履行するために必要な引継ぎを誠意をもって行わなければならない。

(関連委託業務等の調整)

第12条 甲は、乙の実施する委託業務が、甲の発注に係る第三者の実施する他の業務又は工事と密接に関連する場合において、必要があるときは、その実施につき調整を行うものとする。この場合において乙は、甲の調整に従い、第三者の行う業務又は工事の円滑な実施に協力しなければならない。

(負担区分)

第13条 業務履行のため乙が使用する電力、ガス、水道及び電話の料金の負担は、履行場所における最小限度のものについて甲が負担するものとし、業務履行に必要な器具、報告書及び消耗品は乙の負担とする。

なお、特記仕様書等で負担区分が明記してあるものについては、その負担区分によるものとする。

(貸与品)

第14条 甲は、甲から乙へ貸与する機械器具（以下「貸与品」という。）については、品名、数量、品質及び規格又は性能を明示し、乙に引き渡すものとする。

- 2 乙は、貸与品の引き渡しを受けたときは、遅滞なく甲に受領書又は借用書を提出し、善良な管理者の注意をもって保管しなければならない。
- 3 乙は、自己の故意又は過失により貸与品が滅失若しくはき損し、又はその返還が不可能となったときは甲が指定した期間内に代品を納め、若しくは原状に復し、又は損害を賠償しなければならない。

第4節 検査

(検査)

第15条 乙は、業務が完了したときは、契約書別添第10条に基づき委託業務完了通知書を遅滞なく提出し、検査を受けるものとする。

第5節 感染管理

(医療安全対策への協力)

第16条 乙は、甲が行う医療安全対策研修への参加及び医療安全対策への取り組みに協力するものとする。